

村長行政報告要旨



次年度予算編成について

10月15日、庁内に村単独事業検討委員会を設置した。事業の見直し作業を実施し、検討結果の報告をもとに評価作業を進めている。

地方財政は人口減少に伴う地方交付税の減額など更に厳しい状況になると予想されており、事業見直しの結果が少なからず反映された予算編成となるよう考えている。

首都圏なるせ会定期総会について

11月3日、創立30周年の節目を迎えた首都圏なるせ会の定期総会が、東京都文京区の「ホテル椿山荘東京」において、184人が参会し開催された。

今年は、ダム工事の内容説明や本体着工式のビデオ放映や、羽後町出身の皆さんを中心とする首都圏在住の方々による西音馬内盆踊りが披露された。

新会長には岩井川出身の富田秋雄氏が就任した。

若者定住促進住宅について

10月から募集を行った滝ノ沢地区若者定住促進住宅には、

村外から地域おこし協力隊を含む4名の申込みがあり、11月12日に選考委員会を開催して入居を決定し、12月1日から順次入居が始まっている。

地域おこし協力隊について

本村地域おこし協力隊として、千葉県成田市から男性1名が、12月1日に着任している。

所属を教育委員会とし、主として本人が希望しているスポーツ分野での活動を担ってもらうこととしている。

地域の活性化を図るとともに、任期満了後は村へ移住していただきたいと考えている。

ふるさと納税について

納税額は、11月30日現在で652件と、昨年を大幅に上回る状況となっている。

納税額は、年々増加しており、地場産品の宣伝や自主財源の確保につながるよう、今後も創意工夫をしながら努力していく。

第三セクターについて

これまで不在であった支配人が、11月22日に着任した。

10月までの上期におけるホテルプランの売上げ及び入り込み客数は、成瀬ダム工事の効果もあり、前年度に対し若干伸びている。

一方、栗駒山荘は、売上げ、入り込み客数ともに減少した。主な要因として、国道342号線において岩手県側で1か月程度の工事があり、通行止めとなったことなどが影響し、宿泊客数が伸びなかったと分析している。

冬期間のスキー場営業に期待したいと考えているが、慢性的な人手不足も解消していないため、常時リフト3基での運行を予定しており、効率的な運営に努めたい。

秋の火災予防運動における消防駆けつけ訓練について

11月4日、間木地区において消防団と広域消防分署と合同で消防駆けつけ訓練を実施した。今回の訓練では訓練想定段階から消防団が関わり、使用する水利や各部の部署について意見を出し合ったことで、より実践的な訓練となった。

栗駒山火山避難計画について

栗駒山火山防災協議会において、避難計画の作成を進めている。これまで調査した情報をもとに、噴火レベルの設定、事前事後の対応、また、避難対象地区等について検討している。本計画は平成31年3月の協議会に諮られることとなっており、今年度内に完成する予定となっている。

個人番号カード(マイナンバーカード)について

10月末日現在で、村の個人番号カード交付率は県内で最も高い11.41%となっている。

村では、個人番号カードを新たに申請される方への写真撮影サービスを行っている。また、住民基本台帳カードの有効期限を迎える方に対しては、個別に個人番号カードへの切替えや印